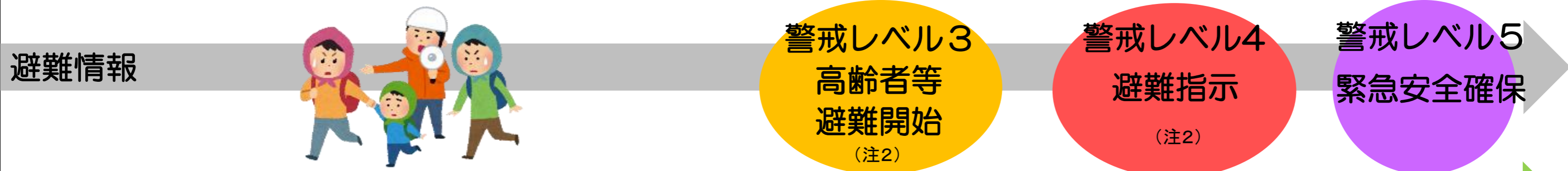




下常吉地区タイムライン



災害から身を守るために、避難を考えるタイミングの手がかりとして、活用してください(作成年月:令和4年2月)



私たち(住民・災害時要配慮者)の動き

避難場所の確認
避難経路の確認
防災グッズを準備

いつでも避難行動に移れるように準備する。

【避難情報の入手方法】
テレビのdボタン、緊急速報メール(エリアメール)、広報車、防災行政無線 等

災害時要配慮者・早めに避難する方は、避難を開始！
指定緊急避難場所の【上常吉公民館】へ避難しましょう。
避難所が満員の場合、上常吉グラウンドや大宮南小学校等へ車中避難。区役員へ避難場所の連絡を行う。

直ちに、指定緊急避難場所の【上常吉公民館】へ避難を開始！
避難所が満員の場合、下常吉公民館へ。又は、上常吉グラウンドや大宮南小学校等へ車中避難。区役員へ避難場所の連絡を行う。(注3)

ただちに命を守る行動を！(注4)

地域(下常吉自主防災組織等)の動き

防災行政無線、テレビ等で気象・防災情報等の確認
○水位観測所
【天谷川、大谷川、常吉川】
○雨量観測所
【気象庁の情報、府サイトにより常吉川の水位確認】
区役員が上記を確認し、近隣区民に情報共有を行う。

- ①上常吉公民館(指定避難場所)へ避難する。
- ②区役員等、自主防災組織が連絡を取り合う。(区民避難場所の確保、安否の確認)
- ③独居高齢者や障害者等の災害時要支援者の避難。
- ④地元消防団、自主防災組織と連携。

- ①区長の責任下で下常吉公民館を自主避難場所として開設する。(区民要望が多いため。)
- ②地元消防団が自主防災組織、市と連携を取る。
- ③組長と連携を取り、区民の安否状況や地区内の状況を確認する。
- ④車で移動できる方は、川の近くを避け、上常吉、旧小学校グラウンド等の高台やより安全な場所へ移動する。

(注1)気象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって異なります。
(注2)気象状況に応じて、高齢者等避難の発令を早める、もしくは避難指示を発表する場合があります。
(注3)すでに避難経路が浸水していたり、夜間で十分な視界が確保できない場合は、無理な避難を避け、自宅の2階といった高い場所へ垂直避難を行きましょう。
(注4)生命を守るための最善の行動をとってください。